

第68回日本神経化学学会大会若手道場優秀発表賞受賞の声

愛媛大学大学院医学系研究科 臨床薬理学講座 医学部3年
竹永 絢音

この度は、このような素晴らしい賞をいただき、大変光栄に存じます。私は加齢したミクログリアを置換することによるパーキンソン病の病態への影響について発表させていただきました。研究を始めてから3年、若手道場への参加は私にとって大きな挑戦でした。会場では、多くの貴重なご質問やご指摘を賜り、まだまだ未熟な私でも、温かい雰囲気の中で議論に参加することができ、非常に刺激的で学びの多い時間となりました。このような発表の場をご用意くださった大会関係者の皆様、ならびに日頃よりご指導を賜っております先生方に、心より感謝申し上げます。今回の受賞を励みに、今後も一層研鑽を重ねてまいりますので、引き続きご指導ご鞭撻のほどよろしく願いいたします。

山梨大学大学院 総合研究部 医学域 薬理学講座
久保田 友人

この度は、若手道場優秀発表賞を頂戴し、大変光栄に存じます。私自身、3度目の正直でこの賞を受賞することで嬉しく思います。これまでご指導くださいました、小泉修一先生、繁富英治先生、そして日頃から支えてくださるラボメンバーの皆様にご心より感謝申し上げます。この受賞を大きな励みとし、今後もより一層邁進してまいります。

慶應義塾大学大学院医学研究科 (博士課程3年)
喜山 公輔

この度は若手道場優秀発表賞を賜り、大変光栄に存じます。日頃よりご指導を賜っております岡野栄之先生や嶋田弘子先生、研究室の皆様にご心より御礼申し上げます。当日は多角的なご質問・ご助言を頂戴し、大きな刺激となりました。私は、グリア細胞リッチな大脳皮質オルガノイドの開発とマウス脳への移植を通じて、ヒト脳発生および神経変性疾患の病態機序解明に資する基盤技術の確立を目指しております。今回の受賞は、本研究の方向性をいっそう明確にし、今後の歩みを導く大きな道標となりました。今後も研鑽を重ね、研究の発展に努めてまいります。

東京科学大学大学院医歯学総合研究科 神経免疫学分野
小山 龍樹

この度は第68回日本神経化学学会 若手道場におきまして優秀発表賞をいただき、大変光栄に存じます。会場の皆様からいただけたご質問、コメントはどれも刺激的で大変勉強になるとともにさらに研究を進める活力となりました。この場をお借りして、審査員の皆様並びに大会の開催に御尽力いただきました大会組織の皆様へ深く感謝申し上げます。今回の受賞を励みに、さらに研究に精進してまいります。今後ともご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

同志社大学 生命医科学部 医生命システム学科4年
同志社大学大学院 脳科学研究科 神経再生機構部門
石丸 大誠

この度は栄誉ある賞を頂戴し、大変光栄に存じます。発表の機会をご用意いただいた大会関係者の皆様、日々ご指導を賜っております金子先生ならびに研究室の皆様にご心より御礼申し上げます。私は、グリア瘢痕部における血管上のアストロサイト突起の形態が新生ニューロンの移動効率に与える影響について、分子メカニズムに焦点を当てて研究しており、約3年間の成果を含めて発表いたしました。先生方より頂いたご質問、ご助言は、今後の研究の励みとなりました。今回の学びを糧に、脳の自己修復の可能性に迫るべく、より一層精進してまいります。

筑波大学 生物学学位プログラム
照屋 林一郎

この度は、第68回日本神経化学学会大会若手道場におきまして、このような名誉ある賞をいただき大変光栄に思います。また、大会の開催に御尽力いただきました大会組織の皆様および研究室の皆様にご心より感謝申し上げます。発表では、ミクログリア運動性とプリン代謝について紹介させていただきましたが、様々な方にご質問いただき、非常に有意義な時間となりました。現在は、それらの疑問に回答できるように、実験を進めております。今後とも研究に邁進してまいりますのでご指導ご鞭撻のほど、よろしく願いいたします。

名古屋大学医学部医学科6年
細胞生物学分野所属
浅井 日沙

この度は、若手道場優秀発表賞をいただき、大変光栄に存じます。学会関係者の皆様、日頃よりご指導いただいている先生方に深く御礼申し上げます。今回、私は胎生期マウス大脳におけるミクログリアの定着経路について発表させていただきました。2年前、初めての学会発表が若手道場であり、思い入れのある場で受賞が叶いましたことを嬉しく思います。学部生として残り少ない時間ではありますが、今後もより一層精進する所存でございます。ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

愛知淑徳大学 健康医療科学部 医療貢献学科
藤田医科大学 大学院保健学研究科 レギュラトリーサイエンス分野
小菅 愛加

この度は、第68回日本神経化学学会大会若手道場におきまして優秀発表賞を頂き、大変光栄に存じます。現在私は、小脳血液脳関門に着目したうつ病病態メカニズムの解明をテーマに研究を行っております。発表の際に先生方から大変有意義なご意見を頂戴し、研究を遂行する上での大きな励みとなりました。今回の受賞を糧に、より一層精進していく所存でございます。引き続きご指導・ご鞭撻の程、何卒宜しくお願い致します。